



新十津川小学校



新十津川中学校



新十津川農業高校



新十津川農業高校

#### 4 6, 9 開町120年目の1年生、期待と不安を胸に 小中高校で入学式

出会いの4月。町内の各学校で入学式が行われました。小学校の酒井雅彦校長は「元気よくあいさつのできる子ども、やさしい子ども、我慢できる子どもになりましょう」と、中学校の高瀬裕二校長は「脳を鍛える、心を育てる、体を作ることの心構えを持ってください」と述べました。

また、農業高校の入学式では、樋口良弘校長が「中学校とは違う自分を見つけてください。小さなことを積み重ねて、大きな感動を経験してください」と述べたのに対し、新入生代表の大畠未鈴さんは「自分の夢に向かって努力していきたいと思います」と、力強く誓いの言葉を述べました。

#### 4 8 まちの憲法制定に向けて

まちづくり基本条例策定委員の8人が町長室を訪れ、まちづくり基本条例の提言書を植田満町長に提出しました。

委員は、一昨年5月から今年3月まで合計32回の策定委員会を開催し、100時間以上にわたって条例の構想を練り上げてきました。

伊藤勝也委員長は「町民の視点で、協働のまちづくりを進めるための考えを精一杯盛り込みました」と話していました。





### 3 11 サケ遡上を願って

徳富川でサケの稚魚放流が行われ、まだ雪が多く残る河川敷に、子どもからお年寄りまで49人が集まりました。

用意された稚魚は500匹。昨年12月に孵化場から卵を譲り受け、身障者福祉協会の会員がゆめりあ内の水槽で大切に育ててきたものです。

会員から「海へ行って、4年後に戻ってくるんだよ」と教えられると、子どもたちは「元気でね」「大きくなって帰ってきてね」と声をかけながら、次々に放流していました。



### 4 25 英語の歌と読み聞かせと

新十津川中学校で英語指導助手として活躍しているアメリカ出身のデビッド・バーシュさんが、図書館で英語で楽しむおはなし会を開きました。

子どもと親81人を前にバーシュさんは、身振り手振りを交えながら、数え歌2曲を紹介したり、『3匹の子ぶた』と『グリとグラ』の読み聞かせをしました。

最後に、得意のバイオリンでドラえもん の主題歌を演奏すると、子どもたちから大きな拍手が送られました。

